

## 6月議会

## 市長提出の物価高騰対策の補正予算案など

### デジタルクーポンと商店街への支援など施策は限定的

宇治市議会6月定例会が9日に開会し、市長から物価高騰対策として12億4千万円の補正予算案が提案されました。

内容は、国が行う非課税世帯や所得が急激に低下した世帯へ3万円を給付する「物価高騰対策給付金事業」に7億9,500万円。

その他は、5,000円で購入すると6,500円又は7,000円の買物ができる「デジタルクーポン」に3億円。

商店街が行う販売促進事業の支援と障がい者施設、介護施設、民間保育園、私立幼稚園などの施設への給付と、事業者行う設備投資への支援に合計1億4,500万円としています。

### 「市民以外も使えるのは市民支援なの?」など、市民や事業者からデジタルクーポンに疑問の声も

党議員団は、これまでから、「宇治市以外の人々の利用も多く市民への支援からずれている。」「デジタルクーポンは限定的で使えない人も多い。」「クーポンそのものを買えない人はどうするのか」「紙の買物券と併用すべき」など地域のみなさんからの声をもとに問題点を指摘し、改善の提案も行ってきました。

しかし、市当局は、「デジタルクーポンの他にも商店街の販売促進事業も行う」「デジタルなら手間と経費が少なくて済む」など問題ないとしています。

### デジタルクーポンも大切だが、水道基本料金の半額減免など、市民にいきわたる施策を

国から宇治市への物価高騰対策としての交付金は約4億円です。そのうち4分の3をデジタルクーポンで使うこととなりますが、4億円のうち2億円を使えば水道使用料の基本料の半額減免を4カ月延長する事ができ、上水道を利用するほぼ全ての世帯や事業者への支援が行えます。

補正予算案は6月定例会の最終日である30日に採決が予定されています。

宇治市以外に法人登記している店舗でも利用できるデジタルクーポンで売り上げが上がっても法人市民税などは市外へ出ていくのではないのでしょうか。

また、宇治市民以外でも利用できるクーポンは、真に市民のための予算の使い方と言えるでしょうか。

市長の市民への姿勢が問われています。

## 6月議会 一般質問(10時開会予定)

### 6月15日(木)

#### 2番目 谷上 晴彦 議員

- ・市民の移動手段の確保について
- ・補聴器購入の補助制度について
- ・奨学金制度の充実について



### 6月16日(金)

#### 1番目 坂本優子 議員

- ・地域コミュニティについて
- ・中宇治地域の公共施設について
- ・歩行者の安全対策について



#### 3番目 大河直幸 議員

- ・歩いて買い物できる街づくり
- ・マイナンバー制度について
- ・府道城陽宇治線について



### 6月19日(月)

#### 1番目 徳永 未来 議員

- ・生理の貧困について
- ・女性の人権と尊厳について ほか
- ・18歳まで医療費無料化について



#### 2番目 山崎 匡 議員

- ・教育課題について
- ・学校施設の改修、学校給食など
- ・木幡地域福祉センターの利用について



#### 5番目 宮本繁夫 議員

- ・天ヶ瀬ダムからの放流による河岸の崩落事故について
- ・消防指令センターの共同運用について
- ・近鉄小倉駅周辺整備について



日本共産党  
宇治市議員団

議員団だより 2023年6月12日号  
宇治市宇治琵琶33 宇治市役所内  
TEL: 0774-22-3141(内線2817)  
FAX: 0774-24-7884

党議員団へのご意見・ご相談はこちらから→

